



防災、節電の新しいスタイルへの挑戦。

ダイアパレス 土浦

—ダイアパレス 土浦 様の節電に対する考え方、及び現状の取り組み状況を教えてください。

3月11日に起こった東北大震災の前に加入していた地震保険の一部を防災対策に使用する事となり、ガス・水道・電気のライフラインの二重化を目指しました。

水道は井戸を掘りポンプで汲み上げるように行い、ガスは共用施設のキッチンをプロパンガスに改修し非常時に備えました。電気については太陽光パネルで発電を行っても蓄電池等のコストが高く付くので、今回電気を蓄える事については断念致しました。ただ、節電に対して何か貢献できないかと考えたところ、今回「次世代蛍光灯 CCFL 照明」に出会い導入検討を行いました。

幸い住民の皆様方の防災や節電に対する意識が非常に高く、導入までの審議は大変スムーズに進める事が出来ました。



—CCFL 導入に至った経緯を教えてください。

省エネ照明の導入を検討している時に、NHKスペシャル放映中で CCFL 照明と、日本ガラストロンクス社の存在を知り直ぐに連絡を取りました。早速、滋賀まで出向き商品の説明を受け手にとって確認して参りました。「LED 照明」とは違った「CCFL 照明」の特色・特性を、ご説明頂き大変惹かれました。導入に至って灯具を交換しなければいけない LED 照明に比べると、CCFL 照明は、安定器交換だけで済むというコストメリットの大きさや調光機能による節電効果の大きさも魅力でした。

それと、なによりも今回の震災で被害を受けられた福島県の工場で造られている事を知り、震災復興のお手伝いの為にも、この CCFL 照明の導入を決めました。



—CCFL 導入後の状況はいかがですか。

諦めかけていた災害時の電力供給も、補助金等を上手く利用して導入するガス発電機と、消費電力の少ない CCFL 照明との組み合わせで、非常時における共用部の電力は賅える予定です。今後、太陽光パネルの設置も視野に入れ、CCFL 照明との最高の組合せに期待したいです。

この CCFL 照明は、従来の蛍光灯のように全く違和感も無く住民の方にも、いい意味で、CCFL 照明に変更した事が気付かれないほど十分な光量もありとても満足しております。

電気代の値上がりにも関わらず、電気料金は減少傾向で、動力・空調を除いた照明部分の電気使用量は約半分に来ている事も、管理組合としても非常に満足しております。

